



全国から集まった日本画の秀作が並ぶ会場

# 新作意欲作 4年ぶり競演

## 春の院展 仙台展開幕

第68回春の院展仙台展（日本美術院、河北新報社主催）が14日、仙台市青葉区の仙台三越本館7階ホールで始まった。初日から多くの美術ファンが詰め掛け、日本画壇を代表するベテランの新作や若手作家の意欲作を楽しんだ。19日まで。

東北からは、招待の番場三雄さん（上山市）、

奨励賞を受賞した谷豊徳さん（山形市）の作品など16点が出品された。初日は同人の大矢紀さん、清水由朗さん、斎藤満栄さんの作品解説が行われた。大矢さんは「名所・旧跡ではなく、自然の一部を描くことが大事」「安全なことだけやっていても駄目。思い切ったことをやってほしい」と話した。



被災地の現状や課題について説明する支援団体の担当者

# 活動継続へ寄付訴え

## 被災地支援 5団体シンポ

仙台

東日本大震災の被災地支援に取り組み県内の各団体の活動を紹介するシンポジウム「あの日から3年、いまを知り、つなげる夜」（一般財団法人東日本大震災の被災地支援に取組む県内の各団体の活動を紹介するシンポジウム）が13日、仙台市青葉区のアエルであった。財団が昨年公募した資金調達支援事業「あつめっちゃ」の支援先に選ばれた5団体の担当者が現状を報告。参加した市民や企業の関係者ら約30人に、活動継続に向けたさらなる支援を訴えた。

若者の就労を支援する仙台市のNPO法人Switchの高橋由佳理事（長49）は「長引く仮設住宅暮らしや親の失業などで心の不調を訴える若者が増えている」と指摘。「働くことが生きる糧になる。復興の担い手であるが、同年12月21日に解除している。カキとホタテガイ出荷自主規制解除

SDをPRする統一マーク



## 県蒲鉾組合連合会 制定

毎年7月7日が「笹かまの月」と決まった。県蒲鉾（かまぼこ）組合連合会（阿部秀一会長）とはインターネットを活用した宣伝活動も展開する計画。県蒲鉾組合

し、笹かまはこの販売拡大につなげる。笹竹が使われる七夕飾りにちなんだ。小売店などに「笹かまを食べて星に願いを」などと書いたPOP（店頭広告）を掲示。形がササの葉に似ている点など、笹かまはこの名前の由来も併せて説明する。

既に統一マークを決めており、若い世代向けに用いた宣伝活動も展開する計画。県蒲鉾組合



ベガルタジュニア仙台市長にV報告 8人制サッカー J.A全農杯チリリンピック2013小学生8人制サッカー全国決勝大会

で、東北勢として初めて優勝したベガルタ仙台ジュニアの選手18人は14日、仙台市役所を訪れ、奥山恵美子市長に初制覇を報告した。主将の佐藤唯斗君（12）

# 水揚げ自粛を解除

## 仙台湾南部海域のアイナメ

県や県内の水産関連団体でつくる県水産物放射能対策連絡会議は14日、漁業者に要請していた仙台湾南部海域のアイナメの水揚げ自粛を解除した。これに伴い、アイナメの検査では昨年5月

出。国の基準値（1000）は下回ったが、連絡会議は「今後、基準値を超える可能性がある」として、昨年5月18日から水揚げ自粛を求めていた。県内の全7海域では、

を提出し、発光ダイオード(LED)防犯灯購入など議案を可決。教育委員に音楽教室主宰小野寺範子氏(57)⇨再任⇨農業大久保芳彦氏(55)⇨新任⇨監



（14日臨時会） 登米市 改選後初の臨時会を開き、議長に田口久義氏(63)⇨写真上⇨、副議長に佐藤恵喜氏(62)⇨写真下

## 議会だより